

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	mf22123
・ 氏名	宮田朋実
・ 学部	理工学研究科
・ 学科(コース等)	システム理工学専攻
・ 学年(渡航開始時)	修士一年終了後
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input type="checkbox"/> 授業履修型 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	カナダ
・ 都市名	トロント
・ 留学先大学名	トロント大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input checked="" type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期(2021年9月上旬等) 2月1日 プログラム終了時期(2021年9月上旬等) 2024/1/31
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	担当教授のお知り合いの教授がいらっしゃったため。 また、興味のある歩行研究を行うことができ、研究室が神経系の患者を専門とした病院にあったのも理由の一つです。 さらに、移民大国であるため興味のある韓国語や中国語なども同時に学ぶことができると考え志願しました。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	SITにおける担当教授の紹介

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 休学をした <input type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

病院に研究室があり、リモートワークをメインに研究活動が進められていました。そのため、ラボメンバーと会うことができたのは隔週の対面ミーティングや実験準備、実験の際のみでした。トロントにおける最大の医療研究機関と病院が共存していた建物での研究活動であったため、医者、PT、学者、技術者がおり、新たな研究プロジェクトを進めるのに必要なものも全て揃っていました。移民大国であることから助け合いの精神が強く、初めての分野における研究にしてはとても順調に進めていくことができたと感じます。しかし、元々個人作業である解析やデータ処理の際にはリモートワークであったこともあまり寂しさを感じるが多かったです。長所短所はありましたが、新たな研究分野にて結果を出すことができ、その他にも興味があったシミュレーションにも挑戦することができたので、研究留学として大成功でした。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	単位数 (現地単位数)
科目概要	

科目名②	単位数 (現地単位数)
科目概要	

科目名③	単位数 (現地単位数)
科目概要	

科目名④	単位数 (現地単位数)
科目概要	

科目名⑤	単位数 (現地単位数)
科目概要	

科目名⑥	単位数 (現地単位数)
科目概要	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

大学ジムにて様々なプログラムや、meetupというアプリで見つけたイベント、教会主催のESL(英会話教室)に参加することで人脈を広げることができました。ただし言語交換会と言いながらも合コン感覚で参加している人が多いものもあるため、女性1人で参加する場合はある程度周囲や飲み物に注意し、乗り気でない誘いにははっきりとNOと伝えることが重要です。世界各国から人が集まっているため、様々な言語や文化を楽しめます。様々な調味料での自炊は楽しく、外食の際も友人がそれぞれの母国のローカルフードを教えてくれるので食事ではトロント内で世界一周しました！

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

1年間で本当に多くのことを学びました。家族がそこにいてくれたこと自体に対する感謝や家事を手伝ってこなかったことへの反省、一緒にご飯を食べてくれた友人の存在に心の底から感謝しました。「海外は日本より多面的にEasy-Goingだ」と国内ではよく聞きますが、それはとても日本中心な意見であり、実際は「日本という国が地圏の東端で大陸からも離れた島国であり、それが故に個性的な文化や価値観を持っている。単純に日本人が異様にこだわり強く、神経質」だと感じました。「ダイバーシティ」とよく聞きますが、移民大都市のトロントでも文化圏ごとに住み分けが自然となされており、個々の性格や文化的背景、価値観の違いにより混ざり合えないものが存在します。その中で社会がある程度回っているのは、「違う文化や価値観」を前提とし、お互い不快ないようにしつつ自己主張して物事を進めるからだと感じました。アメリカや西洋諸国トップ層の影響を受けた幻想的なものでなく、より現実的な「ダイバーシティ」が日本国内で広がれば良いと感じました。留学の目標は、「異なる環境下においても日本と同様に研究成果を出す」、「異なる生活環境や世界トップの学生との研究生活を通してメンタルを一旦壊し、そこから成長する」の主に2つでした。良くも悪くも満点以上の目標達成度合いでした笑 漠然としたストレスや不安を感じる度に自分と向き合い、いかに現状をプラスに捉えられるか、自分に負荷をかけすぎずに対処できるかを考えました。当たり前ではあるのですが、自分の人生はあくまでも自分の人生であり、周りの人々は手助けをしてくれるまでで、行動するかしないかは自分次第、その結果をもちに受けるのも自分であると強く感じました。もう一度同じ経験をしたと思える一年ではありませんでしたが、過去に戻っても間違えなく留学に行きます。辛い時間の方が多かったですが、楽しかった時間や達成感を強く鮮明に思い出せる一年でした。人それぞれ異なる留学を経験していると思いますが、私の留学がこの留学で良かったです。後悔は何一つないです！

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類のみ。オンライン型は記入不要です。)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

芝浦のメールアドレスあるあるですが、@shibaura-it.ac.jpは@shibaura.it.ac.jpと間違えられやすいです。これと海外の仕事速度によって書類作業が1ヶ月以上滞ったことがありました。私は特殊かもしれませんが、トロント大学と医療研究期間、病院の3箇所に対してそれぞれ手続きをする必要があり、それらの違いを説明されていないで手続きしていたため、疑問点に関する質問先を間違え混乱することがありました。

カナダのstudent permit申請は始めてしまえば簡単なのですが、ホームページがイマイチ使いにくく、結局どの書類を出さなきゃ行けないのが少し分かりにくかったです。留学の行き先として有名な国なため、日本語でビザの書類の書き方等を紹介しているウェブサイトが複数あるので、それらを参照しながら自分にとって必要な手続きを進めるのが良いと思います。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

シェアハウス

カナダにおける担当教授の知人がシェアハウスをしており、ちょうど部屋空きがでるとのことで紹介してもらいました

Uber、40分程度

キャンパス: 徒歩15分程度
研究室 : ストリートカー・サブウェイ・バスを乗り継いで1h+ α

ベースメントを3人でシェア。トイレ2つ、シャワー、キッチン、リビング、洗濯機、Wi-Fi付き。部屋は家具・クローゼット付き、シングルベッド4個弱の広さで月\$700のトロントダウンタウンにしては特大破格。ワーホリ経験者で現日本領事館職員の方のお宅で、せっかくの海外生活を生活費に圧迫されてほしくないとのご配慮でのこの金額だそうです。(大学学生寮は上記とほぼ同条件で\$1000/month~でした。)

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥366,120	システム管理料、施設利用料、学生保険料
往復航空券代(往復)	¥350,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥160,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥23,500	ビザ申請代、個人識別情報登録代
計	¥899,620	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥77,000	
食費/月	¥30,000	1日3食(\$15-30/週) 週1-2の外食(カフェ\$10-15,レストラン\$30~)
その他/月	¥23,000	交通費\$100+生活消耗品\$50+通信料金\$35(8G)+その他
計	¥130,000	

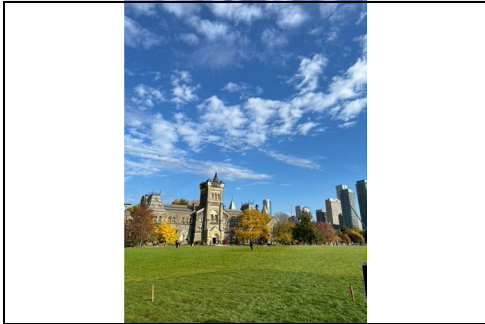
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

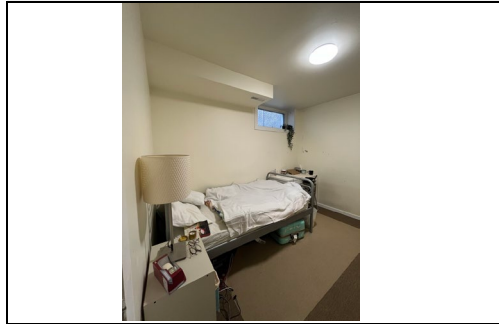
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

サークル活動や学会などに使われ、食堂、ジム、会議室などがある建物

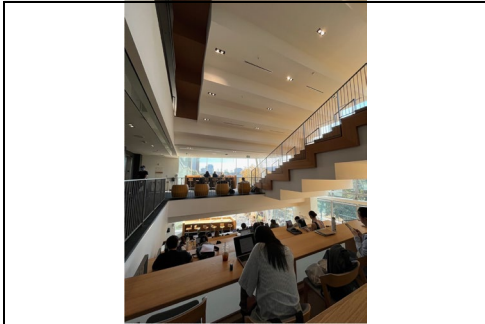
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

左端の切れている部分にクローゼット、右端に出入り口がありました。ベースメントなので、蜘蛛がよく出ました。

その他、任意の写真



説明文

一年の大半を過ごした図書館
セメスター初日の朝から晩まで常に学生が勉強していました

その他、任意の写真



説明文

研究室のある病院裏
夏はここでお昼ご飯食べて休憩していました